

携帯待ち受けフラッシュ まとめ1

参考サイト

ケータイ Flash ラボ !!

<http://mobilef.jugem.jp/?cid=4>

<http://mobilef.jugem.jp/?cid=6>

Adobe モバイル&デバイス デベロッパーセンター

<http://www.adobe.com/jp/devnet/devices/>

Flash lite for SoftBank オーサリングガイドライン

http://www.adobe.com/jp/devnet/devices/pdfs/SoftBank-RequirementsAndCallerInfo_J.pdf

ターゲットパスおよびメソッドの記述方法

Flash lite 1.1 ではドットシンタックスを使用したパスの記述とメソッドの指定はできない。
パスの指定には [/] をメソッドの指定には [tellTarget()] を使用する。

```
_root.testMC.gotoAndPlay();
```

↓ Flash lite では以下のようなになる

```
tellTarget(/testMC){  
    gotoAndPlay();  
}
```

追記

```
_root → /  
_parent → ../
```

算術演算についての注意点

Flash lite で + は add で記述する

携帯待ち受けフラッシュ まとめ2

電池状況の監視

携帯機種の最大バッテリーレベルの監視
変数名 = fscommand2("GetMaxBatteryLevel");

現在のバッテリーのレベルを監視
変数名 = fscommand2("GetBatteryLevel");

外部電源（充電中か）の監視
変数名 = fscommand2("GetPowerSource");
-1: サポートなし 0: 非充電 1: 充電中

電池残量によって処理を変える場合は、バッテリーレベルの変数を使用して
if 文か switch 文を使用して、条件わけをする。
ただし、携帯機種によって最大バッテリーや残量レベルの値が違うので機種別に記述する必要がある。
こちら、最大バッテリーレベルを使用して、if 文か switch 文で条件わけをする。
機種別の最大バッテリーレベルおよび、バッテリーレベルの表記は以下の通り

機種	最大バッテリーレベル	電池 4	電池 3	電池 2	電池 1	電池 0
DoCoMo	3		3	2	1	0
AU	4	4	3	2	1	0
SoftBank	100		100, 95, 83 68, 53, 38	5, 15	5	0

電波状況の監視

携帯機種の最大電波レベルを監視
変数名 = fscommand2("GetMaxSignalLevel");

現在の電波レベルを監視
変数名 = fscommand2("GetSignalLevel");

電波も携帯機種によって値が異なるので注意が必要
最大電波レベルおよび、バッテリーレベルの表記は以下の通り

機種	最大電波レベル	電波 4	電波 3	電波 2	電波 1	圏外
DoCoMo	3		3	2	1	0
AU	4	4	3	2	1	0
SoftBank	100		100	33	2	0

SoftBank はちょっと自信ありません、要調査！